

# 芸術文化の秋の祭典 芸文祭



優楽保存会による優舞



合同発表会の司会は、町内出身フリーアナウンサーの大津幸恵さんがつとめました。



お茶席

10月30日から11月5日の期間、中山町芸術文化協会が主催する「第45回中山町芸文祭」が開催されました。

初日の10月30日には総合体育館で「芸文祭参加音楽会」が開催され、町内小中学校の児童・生徒の金管バンド・吹奏楽の演奏や合唱が披露されました。また、音楽会の最後には「中山町オリオンコール」の皆さんが、透きとおった美しい歌声を披露し、音楽祭を締めくくりました。

11月3日には中央公民館大ホールステージで、優楽・詩吟・新舞踊・民舞踊・剣詩舞などの合同発表会が開催され、表現力豊かな踊りに、観客からは盛んに拍手や拍手が送られました。さらに、謡曲が披露されたり、お茶席が設けられました。

11月2日から5日までは、中央公民館1階において、生け花展、短歌作品展、2階では絵画、写真、書道、民俗研究、俳句の様々な作品を展示。それぞれに趣向を凝らし、個性豊かな力作の数々に、訪れた人たちは足を止めてじっくりと見入っていました。

こうして7日間にわたるバラエティ豊かな芸文祭は、友人同士や家族連れなどが訪れ、芸術の秋にふさわしく、今年も大盛況のうちに幕をおろしました。



豊田小2年生



秋の素謡会



長崎小6年生



中山オリオンコールの美しい歌声

## 第81話 岡村大堤の普請 中山町歴史散策

水田耕作のための溜池は丘陵の間の峡谷や平地の出口に作られました。

水を堰き止めるための堤防は土砂を盛り上げて築かれましたが、堤防の土砂は近くの丘陵から採取されました。

土砂の土質は火山性の砂や粘土のため、つき固めて堤防としましたが、大雨による出水には耐えられず度々崩壊しました。

岡村大堤は岡・小塩・土橋・長崎の4カ村の用水溜池として、正保元年（1644）に本格的な築造により出来上がりました。

元禄10年（1697）に土手が破れましたが、土手を高くして貯水量を増やしたいと人足400人と樋木の申請をしました。

また、宝暦7年（1757）7月には再び堤が決壊しましたが、この時の被害は大きく小塩・長崎・土橋・岡の4カ村に長瀬代官と漆山代官とが立ち会って修理が図られました。

この年の5月22日からの大

雨で柳沢・金沢の溜池も大破しています。

岡村大堤は樋伏込堤の形式で造られ、水を放出する部分に大きな樋（集水管）を沈め、ここから堤外の水路にくみ出すものでした。

用水溜池から水を取り出すため埋めた樋が最初の伏込みのあと伏替えがなく、腐ってしまうと樋口から水漏れするようになり、用水をくみ出すにも支障が生じました。

このため、宝暦12年4月、柴橋代官所に普請手当を願い出て、自普請を含めて、松の丸太37本、大工300人、木挽15人、人足422人をかけた大掛かりな伏替え工事を行いました。

### 【用語の説明】

木挽：木材を大鋸を使用して挽ききること及びそれを職業とする者のこと。

※参考 中山町史 中巻 第9章第1節 風水害と対策

### 寄附のりがうまいわります

◆11月7日、山形農業協同組合から、道路の安全確保に役立ててほしいとカーブミラー4基が寄附されました。



交通安全対策の一環として昭和48年から寄贈していたお借り、これまで町へのカーブミラーの寄附は192基にもなりました。

◆長崎小学校にタニイチ食品株式会社（宮城県塩釜市・渋谷秀夫社長）から揚げかまぼこ「たちちゅう」520個を寄附していただきました。

### 受賞の喜びを分かち合おう

◆「第33回全国中学生人権作文コンテスト山形県山形地区大会」で、今野和浩さん（中山中3年）が、山形協議会奨励賞に選ばれました。◆「平成25年度山形県小学生人権書道コンテスト」で、奥山瑠璃胡さん（長崎小6年）と今田瑞穂さん（豊田小6年）が山形協議会奨励賞に選ばれました。

広告

中山町の米と水を使用した  
ひまわり娘 新酒できました！

手作り弁当 配達承ります！



390円

中山町情報・物産館

0と 023-674-0575

●12月26日の風呂の日は！

大広間イベント午後1時～

秀菊会 による

『民謡・民舞・歌謡ショー』

ひまわり温泉



ゆ・ら・ら 会員募集中！

QRコードからアクセス！



株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780